

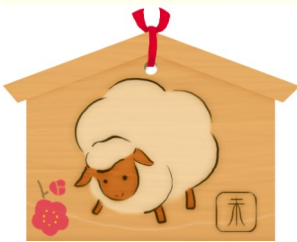
# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

## 平成27年 住職年頭挨拶



仁叟寺住職



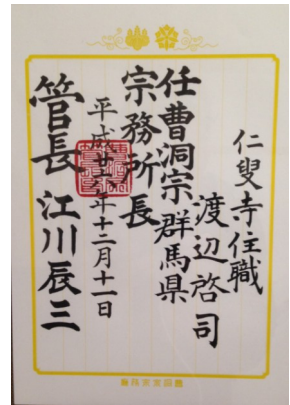
## 乙未 謹賀新年

本年、万事が穏やかな年であることを、ひたすら願うものであります。

65歳を迎える年齢になり、曹洞宗群馬県宗務所長の職を拝命いたしました。再精進に励めという意味と受け止めて、宗門に対しての今迄の報恩行として、職員と共に和合僧にて、力まず焦らず淡々と正確な執務を行おうと心掛けております。

皆さんは、後人に何を残していくか、何を伝えていくか、考えておられますでしょうか？私は、毎日心静かに過ごし、神仏を敬い、父母先祖に感謝し、情に深く義に厚く、そして凛として生きていく、その姿を次の世代に残せることが出来れば、それで良いと思っております。それこそが、「相承」の心と思います。

最後に、檀信徒皆様方の、平安と福寿を祈念申し上げます。



曹洞宗群馬県宗務所長辞令

### 平成27年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/8 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会  
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)  
第34回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日  
梅花講・琴教室・華道教室
- ※群馬県宗務所執務日  
月・水・金曜日

## 平成二十七年 年回表

一周忌	平成二十六年	二十三回忌	平成五年
三回忌	平成二十五年	二十七回忌	平成元年
七回忌	平成二十一年	三十三回忌	昭和五十八年
十三回忌	平成十五年	五十回忌	昭和四十一年
十七回忌	平成十一年	百回忌	大正五年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。  
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。  
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

## 仁叟寺住職 曹洞宗群馬県宗務所長に就任

仁叟寺住職が、平成26年12月11日（木）を以て、曹洞宗群馬県宗務所長に就任いたしました。24年前には、前住職の渡辺隆司東堂も同じく同所長職を拝命し、戦後間もない県内複数宗務所の頃には、先々代の渡辺石橋老師も同じくその任に当たりました。

曹洞宗群馬県宗務所は、県内354箇寺の曹洞宗寺院を統括し、その宗務行政を行います。また、布教部・梅花部・保育部等の部会や寺族会・婦人会・青年会等の組織も所属し、職員も所長を含め8名の役職員にて構成されております。大本山永平寺様（福井県）、大本山總持寺様（横浜市）の両大本山様は勿論、東京都に曹洞宗宗務庁（本庁）、埼玉県に関東管区センターがあり、公務出張も数多くあります。



↑ 曹洞宗群馬県宗務所役職員集合写真

任期は平成30年12月までの4年間であり、その間、檀信徒各位に於かれましては、今まで通りの檀務法務に於いて、代理執行の場面も少なからずあるかと存じます。長男の渡辺龍道副住職兼龍源寺住職、次男の渡辺俊司信永院住職はじめ山内協力し、お勤めを申し上げますので、檀信徒はじめ関係各位に於かれましては、ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

## 仁叟寺雪害修復工事完了報告



↑ 本堂屋根修復工事  
← 欣光閣屋根修復工事



↑ 山門屋根修復工事  
← 鐘楼堂屋根修復工事

昨年2月の大雪により、仁叟寺では、本堂・山門・鐘楼堂・欣光閣等の堂宇及び県指定天然記念物のカヤの樹、五輪櫻に大きな雪害がありました。特に本堂・山門・鐘楼堂は市指定重要文化財でもあり、早期の復旧が望まれました。しかしながら、甚大かつ広域に亘る雪害の為、建築資材や足場、職人等の不足により、工事着工までに非常に長い時間を要し、昨年の秋彼岸会前に、全ての修復工事が完了いたしました。

当山では、本堂を早期に行い、屋根瓦の修復を盆前に完了いたしました。のち、欣光閣・山門・鐘楼堂を順次修復。また、カヤの樹と五輪櫻は樹医の診断を受け、折れた枝の除去や防腐剤等の薬品を塗布いたしました。

以上、当山の雪害修復についてのご報告を申し上げます。

## 仁叟寺秋の研修旅行報告 総代人・酒井範明氏

仁叟寺秋の参拝研修旅行に参加させて頂き、ちょうど今年で10回目となりました。今回は、山梨県の名刹古刹寺院を中心に巡る旅行でした。

47名の方々が参加され、晴天の中、予定通り出発し、まず向かったのは大本山總持寺貴首江川禅師様のゆかりのお寺清光寺です。清光寺の総門は享和元年に建立されたものだそうで、市の指定文化財でもあります。本堂の前にある樹齢約250年のエドヒガンザクラも有名で毎年春には花見客で賑うそうです。本堂には時代の経過を物語る、十二神持像や陶製の文殊菩薩など数多くの仏像を拝見することができました。

次に訪れたのは山梨県を代表する恵林寺。恵林寺は武田家の菩提寺であり、武田信玄公と柳沢吉保の墓所がありました。紅葉には少し早かったですが、素晴らしい庭園で、ゆっくりと落ち着ける感じのお寺でした。

そして最後の参拝先は甲斐善光寺。川中島

の戦いで、信濃の善光寺に戦火が及ぶのを恐れて、武田信玄公が甲府に移したのがこちらのお寺。吊り天井に描かれた「鳴



き龍」は、日本一の規模だそうです。天井に大きな龍が描かれているのですが、手を叩くと反響して龍が鳴きます。お戒壇廻りご本尊様と仏縁を深めていくことができました。

最後に今回の研修旅行は天候にも恵まれ、楽しい一日を過ごすことができ、感謝申し上げますと共に、研修旅行に参加されました皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

### ↑ 集合写真（山梨県清光寺様）

酒井範明様、原稿ありがとうございました。なお、仁叟寺秋の研修旅行は、第10回をもって一先ず休止とさせていただきます。多くの方々に参加していただき、当寺恒例の日帰り研修参拝旅行となり、有難く感謝しております。本年からは、住職が宗務所長を勤めます曹洞宗群馬県宗務所の研修旅行が秋にございます。県内各地より多くの方々が参加し、バス8台程で行っている恒例の研修旅行です。今年は大本山總持寺二祖峨山禅師650回大遠忌の年に当たり、大本山總持寺様への拜登を予定しております。是非とも奮ってのご参加を宜しくお願い申し上げます。

## 群馬県主催 赤い系プロジェクト 寺婚開催

昨年8月31日（日）、群馬県少子化対策青少年課の事業「ぐんま赤い系プロジェクト」（略称・あいぷろ）主催で、仁叟寺を舞台に寺婚が開催されました。今回の寺婚は、岩田教育経営研究所の岩田恭先生を中心に運営され、男女各20名合計40名が参加。盛会裏にプロジェクトが行えました。

寺院を舞台に、群馬県主催の婚活を行うのは仁叟寺が初めてでありましたが、岩田先生はじめ関係各位やスタッフ方の尽力もあり、男女共にキャンセル待ちも発生するほどの大盛況振りでありました。

少子高齢化の波は高く大きく、社会全体に於いても深く考えなくてはならない問題です。地域の活性化の為に、当寺も協力させていただきました。盛況に付き、次回2月15日（日）午後にも仁叟寺にて開催予定です。



お問い合わせは、副住職まで。

## 仁叟寺観音像修復報告

仁叟寺観音像は、珍しい七観音（前立仏を含めると八体）で、その全てが高崎市重要文化財に指定されております。本尊は、千手観音像で、羊太夫の護本尊とも伝わっております。以前は、末寺でありました八束山観音寺の本尊様でおられましたが、明治期に二度に亘る火災により観音寺は廃寺。以降、本尊千手観音様ほか御尊像は、本寺である仁叟寺が観音堂にて祀らせております。

現在は、上州観音霊場第18番札所に指定され、多くの霊場巡りの参拝者が御朱印をいただきにお詣りに訪れます。ほか、南毛観音霊場第18番札所、坂東三郡観音霊場第25番札所にも指定されております。

仁叟寺仏像修復事業にて、観音像は全て修復の目処がたち、現在では本尊千手観音様と前立仏様の修復を鋭意行っております。修復完了時期は本年秋彼岸会頃を予定。これにて、平成14年より続きました仁叟寺仏像修復事業は一段落いたします。

また、本尊千手観音像は、仏師姫路青峯師によります修復を受け、昨秋に副住職・新井徳衛総代長・矢島正義総代人・長谷川寛見郷土史家の方々と東京に所在する師の工房にて作業風景の見学会を行いました。日本古来の伝統技法を駆使し、しっかりとした修復を匠の技にて、仁叟寺の大切な観音様が修復をされておりますこと、茲にご報告申し上げます。



↑  
→ 観音像修復作業風景



→ 仁叟寺観音堂



## 神奈川県第一宗務所主催研修参拝团来山



← 導師を勤める  
清野神奈川第一  
宗務所長老師

去る10月7日（火）、曹洞宗神奈川県第一宗務所主催研修参拝团およそ180名が、大型バス5台にて仁叟寺に来山されました。初めに清野宗元神奈川県第一宗務所長老師ご導師のもと、仏祖諷経を修行し、その後に仁叟寺住職による講話。天候もよく、仁叟寺総代人の皆様方のご協力も賜り、秋天爽やかな仁叟寺境内も散策していただきました。圏央道が東名まで延伸し、高速道で当地まで移動出来ることに加え、世界遺産登録及び国宝に指定されました富岡製糸場への見学を兼ねて企画されました。

特に仁叟寺では、高崎市の避難所に指定された件に関し、お話しをいただきたいとの要望もあり、住職よりその旨を含め、講話をいたしました。皆、熱心に耳を傾けて、研修のひと時を過ごしていただきました。

→ 講師を勤める  
仁叟寺住職



## 高崎市里山元気再生事業報告



↑ おてんま風景  
（もみじ山頂上付近）  
← 奉仕役員集合写真

仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々の協力をもって行っております高崎市の事業、里山元気再生事業の継続が決まりました。伐採した竹林は7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラ200株を植樹いたしました。なお、作業に当たっては、特に矢島巖さん、小沢昇さん、金井正男さん、加藤壮士さんに一方ならぬご尽力をいただいております。

仁叟寺総代会役員会に併せ、昨年の夏と秋におてんま（吉井地域の方言、共同作業や普請の意）を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を総代人さん、役員さん、地元の方々と共に行い、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。里山再生に相応しい整備を、地域の方々と共に願うところです。

## 自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



← ボランティア活動  
（福島県南相馬市小高地区）

去る10月30日から31日に掛けて、福島県南相馬市に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会有志9名と福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長3名と共に、福島県被災地域及び新祥寺様での慰霊と奉仕活動をさせていただきました。

福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長は、副住職と同じ大本山總持寺での修行仲間。お互いに何か出来ることを考え、今春に両会で行います慰霊と奉仕作業の下見といった側面も兼ね企画。避難解除されて間もない小高地区での作業や今なお居住制限のある浪江町にて慰霊碑前等にて法要を勤めました。



福島県の被災地域は、特に原子力発電所事故の件もあり、復旧がまだまだな箇所が多くございます。出来る事を出来る範囲で、微力ではありますが協力することが出来ればと考えております。

## 総代長新年挨拶

### 新年明けましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

当寺に於いては仏像修復事業もお陰様で順調に進み、干手観音像の修復の運びとなりました。羊太夫の守り本尊として実証的なものが出て来れば楽しみです。改めて檀信徒皆様のお蔭と感謝申し上げます。

今年は大本山總持寺二祖峨山韶碩禅師650回大遠忌の年を迎えました。昨年はその予修法要が、群馬県と仁叟寺でも奉修されました。峨山さまが身をもって示された「二十五哲」と呼ばれる多くの優れた内弟を育成し總持寺発展の基礎を形成しました。その教えを学び、ほんの僅かでも受け継ぎ実践して参る所存です。

また、当寺の年中行事も順調に進められて参りました。特に住職様には祖父石橋和尚様、東堂（前住職）様と三代に亘り群馬県の曹洞宗寺院を統括する宗務所長に就任いたしました。誠におめでたい事でありませう。これからは、一層檀務、宗務に多忙な日々を過ごす事と思われませうが、健康

に充分気を付けてご活躍されますよう祈念致します。

最後になりましたが、先輩総代皆様のようになかなか参りませんが誠意を込めて一生懸命精進いたしますので役員の皆様、檀家の皆様のご指導とご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

本年も皆様ご一家のご繁栄と菩提寺の護持発展を祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成27年乙未元旦 仁叟寺総代人一同

(文責、総代長 新井徳衛)

筆者・新井徳衛 総代長



### 仁叟寺総代人一同

新井徳衛	篠崎和男	矢島正義
森 久	堀越兼一	神保堯男
橋爪 勝	酒井範明	神保武長

## 渡辺龍道 副住職 群馬県曹洞宗青年会長に就任

平成27年元旦より、副住職が群馬県曹洞宗青年会の会長職を拝命いたしました。40歳以下の県内曹洞宗宗侶が会員となり、50年を超える歴史と伝統のある会であります。会員は現在約70名。仁叟寺が会場にもなりました「緑蔭禅の集い」や「こども禅の集い」、多種多様なボランティア活動、研修会や講演会なども各委員会毎に行われております。住職も若手宗侶であった際に、会長を勤め、師資二代に亘ってのお役拝命となりました。宜しくお願い申し上げます。

## 行雲流水（編集後記）

明けまして、おめでとうございます。

当寺報中にも記載させていただいた通り、住職が曹洞宗群馬県宗務所長を、当方は群馬県曹洞宗青年会長を拝命いたしました。任に当たって他に譲り難し、出来る範囲でしっかりとお勤めをさせていただこうと思っております。

また、長男哲道がお蔭様で10歳になり地元の多胡小学校に通っております。本年3月に修

編集人 副住職 渡辺龍道

行されます大般若会大施食会では、和尚となる一歩を踏み出す「得度式」を、併せて行いたく考えております。檀信徒の皆様にご温かく見守っていただければ幸いです。

本年も、何卒宜しく申し上げます。合掌。（龍）

